

令和6年度 館山特別養護老人ホーム事業報告

1. 運営報告

特別養護老人ホームは、介護保険法等の主旨に沿って、高齢者が地域で安心してその人らしい生活を送ることができる拠点施設として地域福祉の向上に役立ち、地域住民の期待に応える使命が求められている。

ノーマライゼーション・人権尊重の理念に基づき、利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、生活の質の向上に努め、質の高いサービスの提供と各種事業を推進した。

また、高齢者が介護の必要になる前から「介護予防」に対する意識を高くもってもらい、地域で健康な生活を続けていけるよう支援に努めた。

感染予防のため、来所者、職員に対して体温確認や手指消毒、うがい・手洗いなどの衛生管理を徹底した。しかしながら、令和6年度は施設内で新型コロナウイルスとインフルエンザのクラスター発生の影響が響き、職員数の減もあり、ご利用者数の回復までに至らなかった。

〈介護老人福祉施設〉

施設での生活が入居者にとって最良の場として満足を感じることが出来るよう、介護職、看護職、生活相談員、管理栄養士の各専門職の協働のもと、介護支援専門員が入居者個々の介護計画(ケアプラン)を作成し、日常生活全般にわたる必要な介護と生活の質の向上を目指した生活支援を行った。

また、苦情相談窓口機能の発揮、身体拘束廃止、虐待防止などに対する権利擁護・人権尊重を旨とし、安心、安穏な生活の場を提供した。

嘱託医や協力医療機関との連携により入居者の心身、健康管理を行い、「心の通う支援」を通して利用者と職員間の信頼関係を深めるとともに、家族の協力も得ながら利用者、家族、職員間の交流を図り、安心して生涯を過ごせるよう努めた。

定員 100人 ： 年間延べ 28,672人、一日平均 78.6人が利用された。

〈短期入所生活介護事業〉

要介護状態にある高齢者に対し、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、適切なサービス提供を行った。

更に、利用者の心身の機能維持及び家族の身体的並びに精神的負担の軽減を図るよう支援し、実施にあたっては、家族、介護者そして居宅介護支援事業者等との連携及び協力に努めた。

定員 12人 ： 年間延べ 1,661人、一日平均 4.6人が利用された。

〈通所介護事業〉

デイサービスセンターふれあいの郷は、要支援・要介護状態にある高齢者に対し、通所計画に基づいて、日常生活上の助力・お世話などを行うことにより、利用者の社会的孤立感の緩和及び心身機能の維持、向上並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減が図られるよう支援を行った。

日常生活における生活相談、介護相談などを行い、他者との交流の場の提供や地域の一員として活動、助長が図られるよう、介護予防に努めた。

また、地域密着型通所介護として地域に根差したサービス提供を行うため、運営推進会議を通して、地域との連携と事業所運営の透明性確保に努めた。

定員 18人 ： 年間延べ 3,194人、一日平均 10.2人が利用された。

〈居宅介護支援事業〉

要介護状態等にある高齢者が、居宅において自己の能力に応じた自立生活を営めるよう支援をした。

また、利用者・家族・関係市町村・地域包括支援センター、他の指定居宅介護支援事業者・介護保険施設等との連携に努め、常に利用者の立場に立って、公正・適正なケアプランの作成を行い、サービスの提供を行った。

年間延べ 要介護 741名、要支援 291名 合計 1,032人が利用。

月平均 86人のケアプラン作成に携わった。

2. QOL（生活の質）、ケアサービスの向上

- (1) 笑顔と挨拶を基本に三大介護(食事、入浴、排泄)はもとより心のケアを加え、利用者一人ひとりに見合った処遇の充実に取り組んだ。
- (2) 口腔ケアの推進による口腔機能の維持・助長を図り、「口から美味しく食べる、良く嚙んでから食べる」ことにより食の楽しみ、味わいを感じてもらい、日常生活と心身の安定につなげ、また、誤嚥の予防、認知症の予防・悪化防止に努めた。
- (3) 離床による「座りっきり」解消のため、生活の中に遊ビリテーション（レクリエーション）を取り入れるとともに、ADL(日常生活動作)及びニーズに合わせたクラブ活動、外出等を考案し、より楽しい生活空間の提供に努めた。
- (4) 利用者との話し合いの機会を多く持ち、基本的人権を尊重し、常に利用者の立場で考え、ケアプランに基づくサービスを提供しQOLの向上につなげた。

3. 生活相談

利用者一人ひとりが安心して生活できるよう、また、施設内外の諸行事を通じて安心した日々を生き生きと、その人らしく暮らすことができるよう支援した。

- (1) 利用者の在宅時の生活様子、人権尊重をもとに生活状態を常に把握した上で、個々の相談対応を図った。
- (2) 利用者へ適切なアドバイスを行い、自己決定に導くよう努めた。
- (3) 家庭・家族との関わりは特に密にするものとし、また、諸行事、企画等への積極的参加増進が図られるよう行った。

4. 健康管理

- (1) 利用者の生活リズムを見直しながら、心身の健康と残存機能の保持、回復に努めた。
- (2) 加齢によるADLの低下に伴い、日常生活にリハビリテーションを取り入れ、個別プランに基づき、利用者個々の状態変化に応じたプログラムに取り組んだ。
- (3) 身体的、精神的状況の把握と、疾病の早期発見に努め、状態に変化が生じたときは、嘱託医師や協力医療機関との連携のもと適切な対応を行った。
- (4) 一年を通し、感染症の流行状況など情報収集に留意するとともに、職員への研修の開催、具体的な予防法の修得やマニュアルに基づく早期対応により、発生、蔓延の防止に努めた。

令和6年度も新型コロナウイルス感染予防のため、年間を通じて面会制限措置（窓越し面会、オンライン面会）をとった。

また、インフルエンザワクチン接種を11月に実施した。

5. 給 食

- (1) 栄養ケアマネジメントにより、利用者一人ひとりの健康状態を把握し、低栄養状態の予防・改善、身体状況及び生活機能の維持・改善を図った。
- (2) 適時・適温の食事の提供や、季節（旬）の食材や嗜好を取入れた献立・行事食等、食事サービスの実施により、食を通したQOLの向上に努めた。
- (3) 利用者の摂食・嚥下機能に合せた食事形態を把握し、調理の工夫等により、食べやすい形での食事提供を行った。
- (4) 厨房内の環境整備により、調理作業の安全と衛生管理を図り、食中毒、感染症の発症防止に努めた。

6. 職員研修

- (1) 資質の向上のため研修会・研究会・視察、見学等へ積極的に参加し、知識・技術の習得、新しい情報の収集を図り、自己研鑽を図った。
- (2) 外部研修等により習得した内容は、所内研修を通して他職種へ伝達、共有し、チームケアによるケアの推進に努めた。
- (3) 社会福祉士、介護福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員、介護職員実務者研修等の資格取得を推奨し、専門職の職域向上を図った。

7. 各委員会・会議

長寿健康検討委員会、職員会議をはじめ各委員会、会議を通して利用者の日々の支援と利用者と職員間、職員相互の人間関係、さらには各職種の業務執行の円滑化、情報の共有化を図り、合理的な施設の管理・運営を進めるために意見交換や検討を行い、職員の意思を反映させながらより良い施設づくりに努めた。

8. 防災関係

- (1) 火災は、「発生させないこと」を基本に、日常の点検の徹底を怠らないこと、防火設備等の整備点検を実施し、万全な対策を図った。
- (2) 安全な生活を確保する為、防災計画に基づく訓練・人的な協力体制の構築、維持に努めた。
- (3) 自然災害(地震、風水害)に対する訓練、備蓄品の確認、災害時の対応、対策を行った。
また、水防法に基づき施設の洪水時に円滑かつ迅速な避難の確保が図れるよう「避難時の避難確保計画」を作成し、館山市へ届出した。
- (4) 防災協力員及び警備保障会社との連携を常に保ち、避難場所の確認、協力体制の一層の強化を図った。

9. 地域連携

- (1) 地域福祉サービスの拠点となる施設として、関連地域・関係機関との連絡を図った。
- (2) 地域交流に努めてコミュニケーション強化を図り、開かれた施設づくりに努めた。

10. 環境整備・工事関係

適切な生活環境保持と利用者の安全、快適なサービス提供のため、施設の住環境整備を実施した。

・ 電話設備改裝工事	3, 259, 623円（共同事業）
・ キュービクル改修工事	2, 737, 059円（共同事業）
・ 浄化槽ブロワ交換工事	660, 000円（共同事業）
・ 給湯器設備交換工事	20, 521, 600円
・ 1 階居室等LED証明器具交換工事	4, 632, 980円
・ 厨房エアコン入替工事	1, 226, 500円
・ 食器消毒保管庫	913, 000円

2. 職員名簿

令和7年3月31日現在

職 種	氏 名	勤続年数		職 種	氏 名	勤続年数		
		年	月			年	月	
施設長		1	0	特養 臨時職員		就職日		
副施設長兼介護支援専門員主任		14	11	事務員		令和6年4月1日		
生活相談員		6	5	看護職員		令和6年3月25日		
		1	5	介護職員		平成21年4月27日		
事務員		1	11			令和2年10月16日		
主任事務員		8	0			令和5年12月1日		
看護主任		4	6			令和2年5月1日		
看護職員		3	10			平成30年5月21日		
主任栄養士		15	0			令和3年3月1日		
		0	10			令和6年3月18日		
介護長		19	5			令和6年6月20日		
介護主任		21	10			平成25年10月1日		
		17	6			令和7年2月1日		
		13	8			令和7年2月1日		
介護職員		32	0	用務員他		平成28年6月6日		
		27	10			平成30年4月23日		
		23	5			令和4年6月2日		
		22	7			令和4年8月24日		
		21	2			令和5年1月1日		
		19	4	小 計		名		
		16	2	デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー				
		16	1					
		12	11					介護主任兼生活相談員
		12	11	介護職員兼生活相談員		12	6	
		11	3	看護職員		0	11	
		10	11			0	6	
		7	10	デ イ 臨時職員		就職日		
		4	9	介護職員		平成30年7月1日		
		3	9			令和2年1月1日		
		2	7			令和6年1月1日		
		2	0	用務員		令和4年10月11日		
				小 計		名		
				居 宅 支 援 セ ン タ ー				
								介護支援専門員
						3	0	
				小 計		2 名		
				総 合 計				2 名
	施 設 内 診 療 所				医 師			
嘱託医						令和4年2月		
嘱託医		平成15年4月				平成20年4月		
計				名				

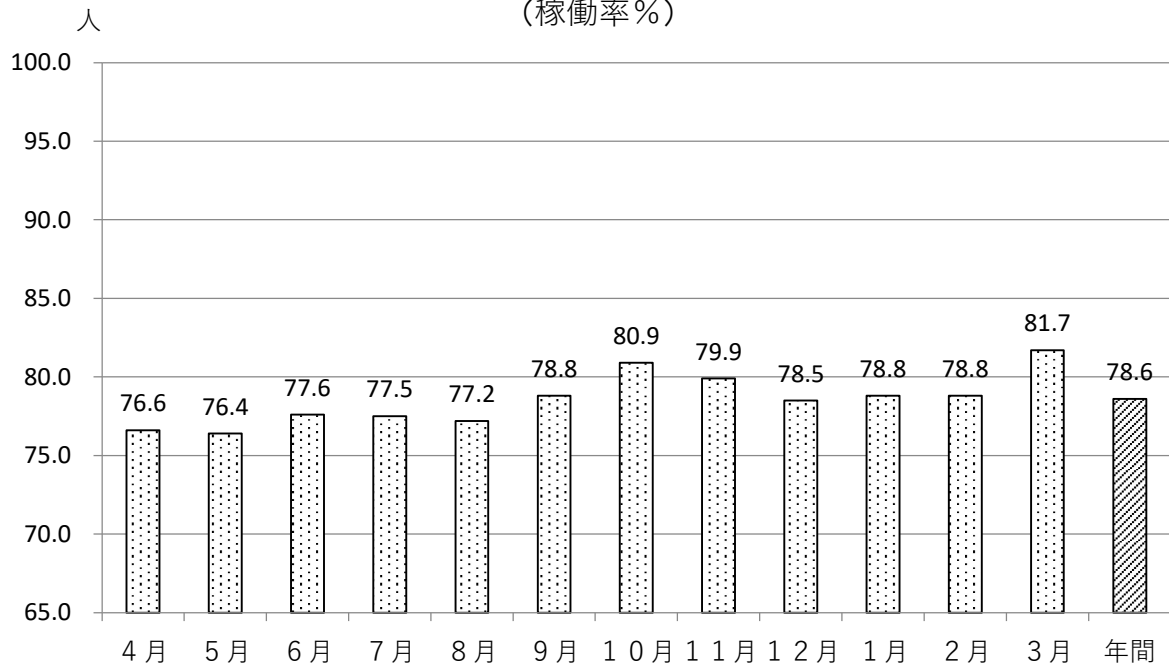
3. 介護老人福祉施設事業

令和6年度 利用状況 (定員 100人)

(単位 人)

月	介護老人福祉施設		延べ利用者数	1日当たり利用者数 (稼働率%)
	日数	実利用者数		
4月	30	79	2,299	76.6
5月	31	79	2,367	76.4
6月	30	78	2,327	77.6
7月	31	79	2,403	77.5
8月	31	78	2,392	77.2
9月	30	82	2,363	78.8
10月	31	82	2,509	80.9
11月	30	81	2,397	79.9
12月	31	82	2,435	78.5
1月	31	80	2,442	78.8
2月	28	80	2,205	78.8
3月	31	83	2,533	81.7
年間	365		28,672	78.6
前年比	100.0%		105.8%	

1日当たり利用者数
(稼働率%)

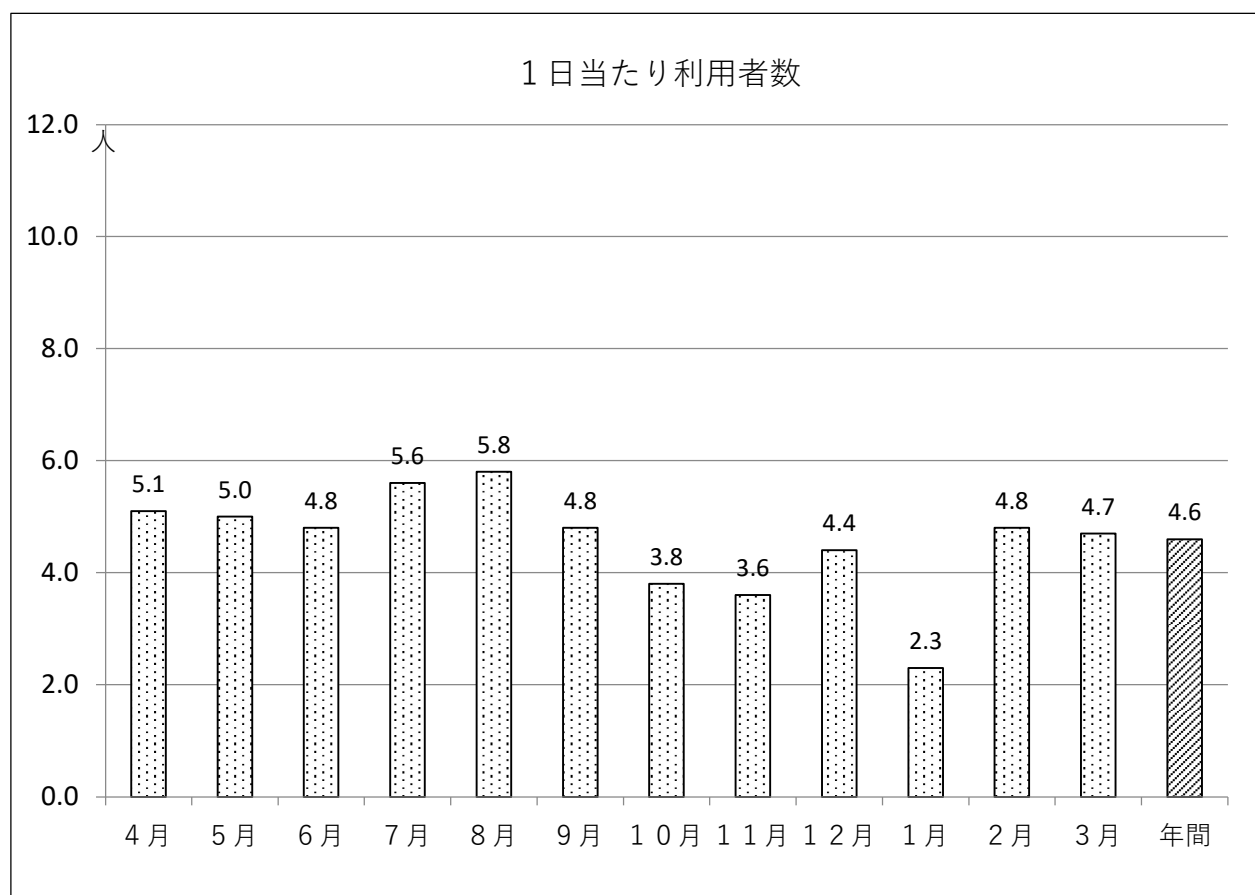


4. 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業

令和6年度 利用状況 (定員 12人)

(単位 人)

月	短期入所生活介護		介護予防短期入所生活介護		延べ利用者数 計	1日当たり 利用者数
	利用者数	延べ利用者数	利用者数	延べ利用者数		
4月	13	152	0	0	152	5.1
5月	11	154	0	0	154	5.0
6月	15	145	0	0	145	4.8
7月	13	173	0	0	173	5.6
8月	15	180	0	0	180	5.8
9月	18	145	0	0	145	4.8
10月	13	118	0	0	118	3.8
11月	12	107	0	0	107	3.6
12月	16	136	0	0	136	4.4
1月	9	71	0	0	71	2.3
2月	15	133	0	0	133	4.8
3月	10	147	0	0	147	4.7
年間		1,661		0	1,661	4.6
前年比		138.4%		増減なし	138.4%	

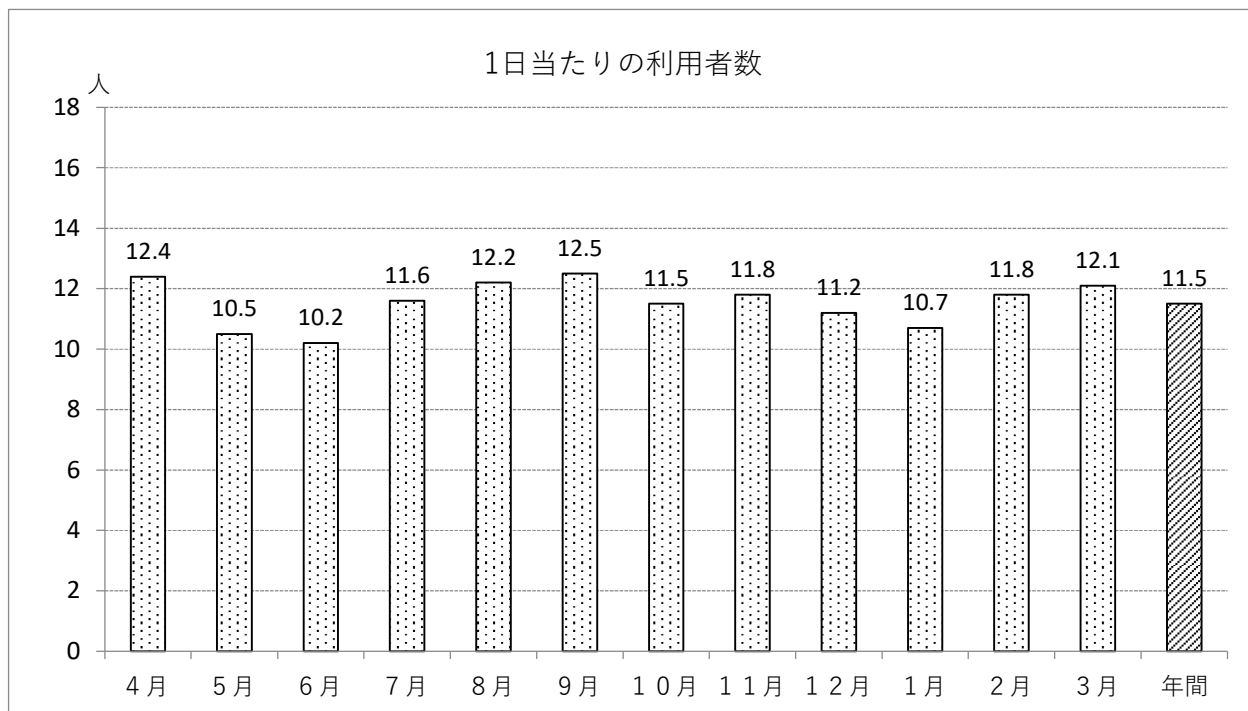


5. 通所介護・介護予防通所介護事業

令和6年度 利用状況 (定員 18人)

(単位 人)

月	地域密着型通所介護		館山市日常生活支援 総合事業		特定施設入居者生活介護外部サービス		延べ利用者数 計	事業日数 (日)	1日当たり利用者数
	利用者数	延べ利用者数	利用者数	延べ利用者数	利用者数	延べ利用者数			
4月	27	215	5	35	19	72	322	26	12.4
5月	25	218	5	35	8	31	284	27	10.5
6月	27	209	5	32	8	13	254	25	10.2
7月	28	248	5	35	8	29	312	27	11.6
8月	30	269	5	34	8	26	329	27	12.2
9月	31	251	5	34	8	28	313	25	12.5
10月	32	237	5	27	8	12	276	24	11.5
11月	28	245	5	32	8	31	308	26	11.8
12月	29	222	5	34	8	25	281	25	11.2
1月	26	215	4	31	8	10	256	24	10.7
2月	30	228	4	26	8	30	284	24	11.8
3月	31	258	4	24	8	32	314	26	12.1
年間		2,815		379		339	3,533	306	11.5
前年比		86.0%		87.5%		118.1%	88.5%	98.7%	

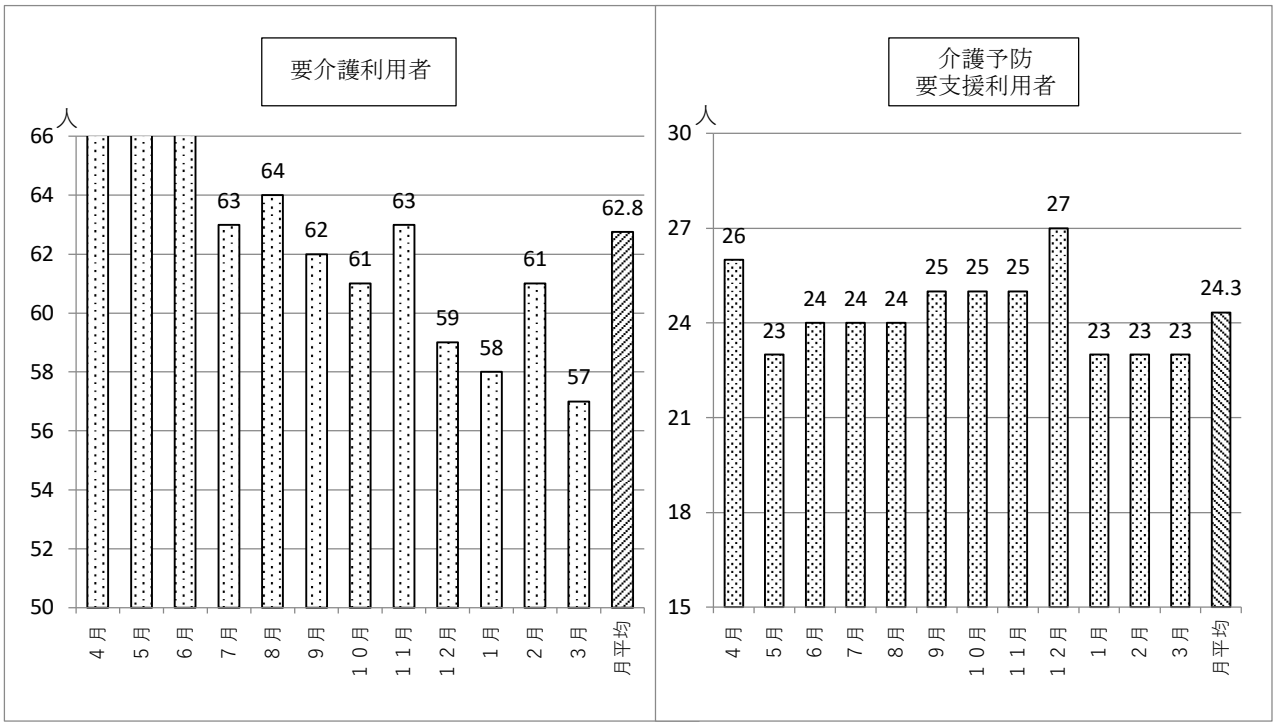


6. 居宅介護支援センター事業

令和6年度 利用状況

(単位 人)

月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	介護予防			総合計
							要支援1	要支援2	計	
4月	35	18	9	4	2	68	11	15	26	94
5月	35	19	9	5	2	70	9	14	23	93
6月	33	20	8	3	3	67	10	14	24	91
7月	31	18	8	3	3	63	11	13	24	87
8月	30	20	9	3	2	64	11	13	24	88
9月	29	20	9	3	1	62	12	13	25	87
10月	29	20	9	2	1	61	13	12	25	86
11月	29	21	8	2	3	63	13	12	25	88
12月	28	20	8	2	1	59	14	13	27	86
1月	27	21	7	2	1	58	11	12	23	81
2月	28	20	7	3	3	61	10	13	23	84
3月	29	18	6	1	3	57	10	13	23	80
計	363	235	97	33	25	753	135	157	292	1,045
月平均	30.3	19.6	8.1	2.8	2.1	62.8	11.3	13.1	24.3	87.1
前年比(%)	96.5	129.8	101.0	49.3	92.6	100.8	84.9	90.8	88.0	96.8



7. 市町村別入所状況

令和7年3月31日現在

介護老人福祉施設（定員 100人）

(単位 人)

実施機関名	現在員	令和5年度		退 所 理 由			
		入所者数	退所者数	家庭復帰	長期入院	死亡	その他 (転院)
館 山 市	76	23	21		5	16	
南 房 総 市	5	3	2			2	
(富浦地区)			1			1	
(富山地区)							
(三芳地区)	1	1					
(白浜地区)	3	2					
(千倉地区)			1			1	
(丸山地区)	1						
(和田地区)							
鋸 南 町	2						
鴨 川 市							
計	83	26	23	0	5	18	0

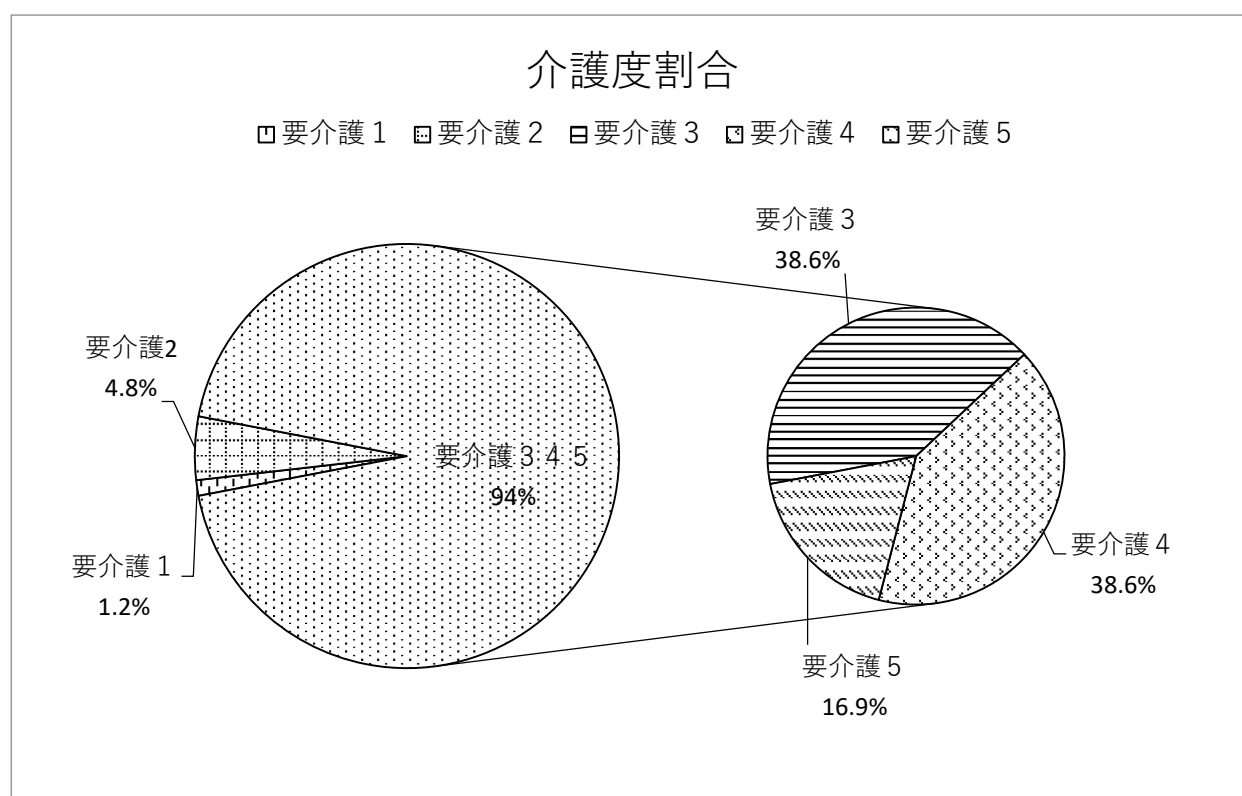
8. 入所者介護度別表

令和7年3月31日現在

介護老人福祉施設 (定員 100人)

(単位 人)

介 護 度	男	女	小 計
要 介 護 1		1	1
要 介 護 2	1	3	4
要 介 護 3	7	25	32
要 介 護 4	7	25	32
要 介 護 5		14	14
合 計	15	68	83
平均要介護度	3.4	3.7	3.7



9. 入所者認知度別表

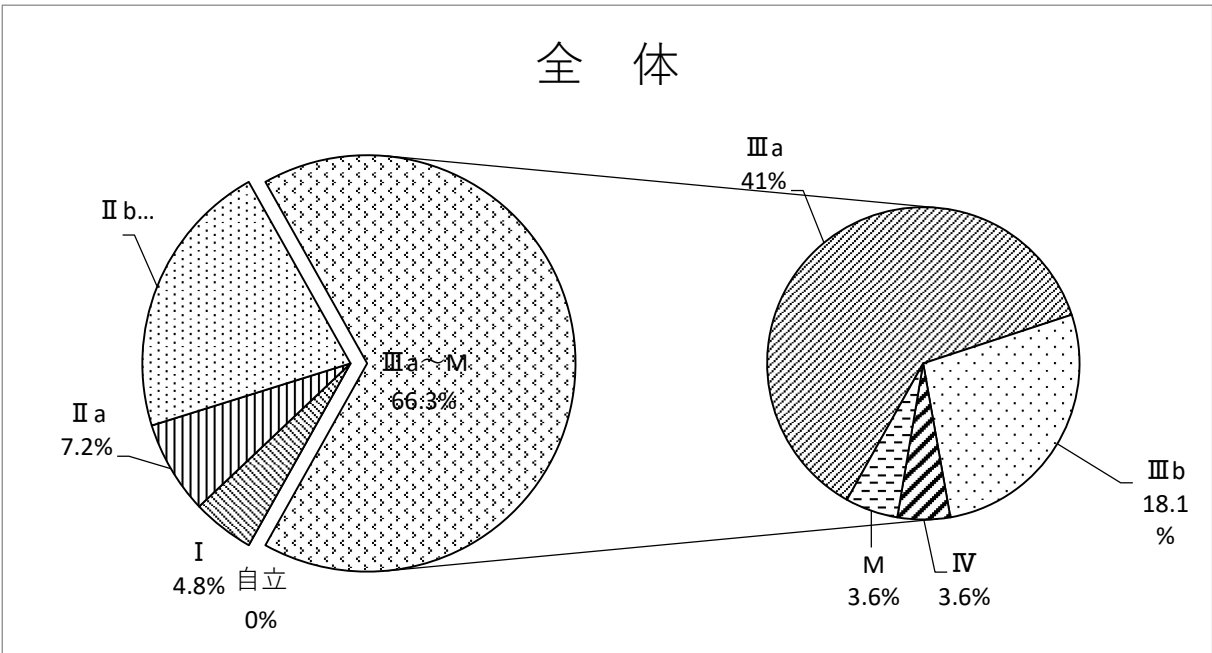
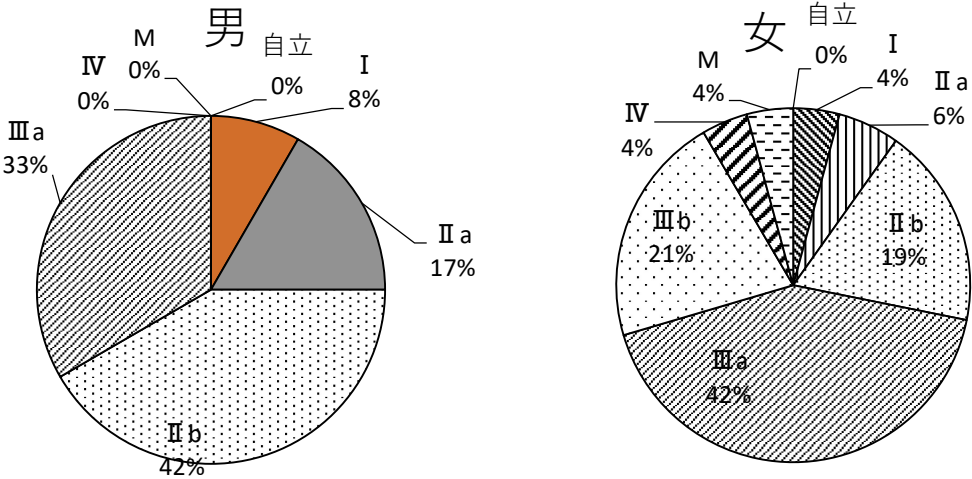
令和7年3月31日現在

介護老人福祉施設（定員 100人）

（単位 人）

認 知 度	男	女	小 計
自立			
I	1	3	4
Ⅱ a	2	4	6
Ⅱ b	5	13	18
Ⅲ a	4	30	34
Ⅲ b		15	15
IV		3	3
M		3	3
合 計	12	71	83

※認知度 I（軽度） → M（重度）



10. 入所者年齢別表

令和7年3月31日現在

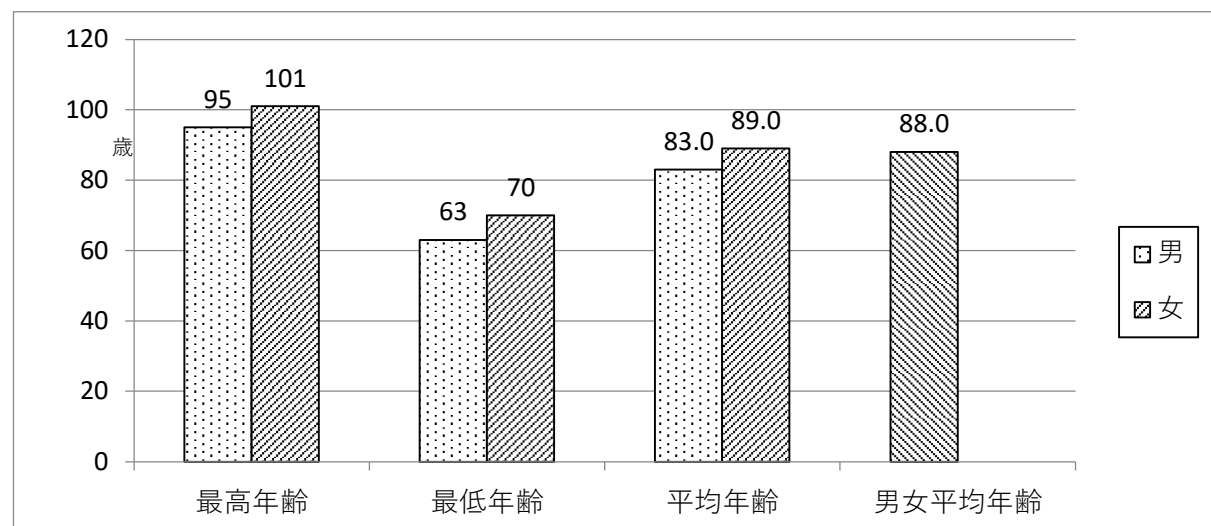
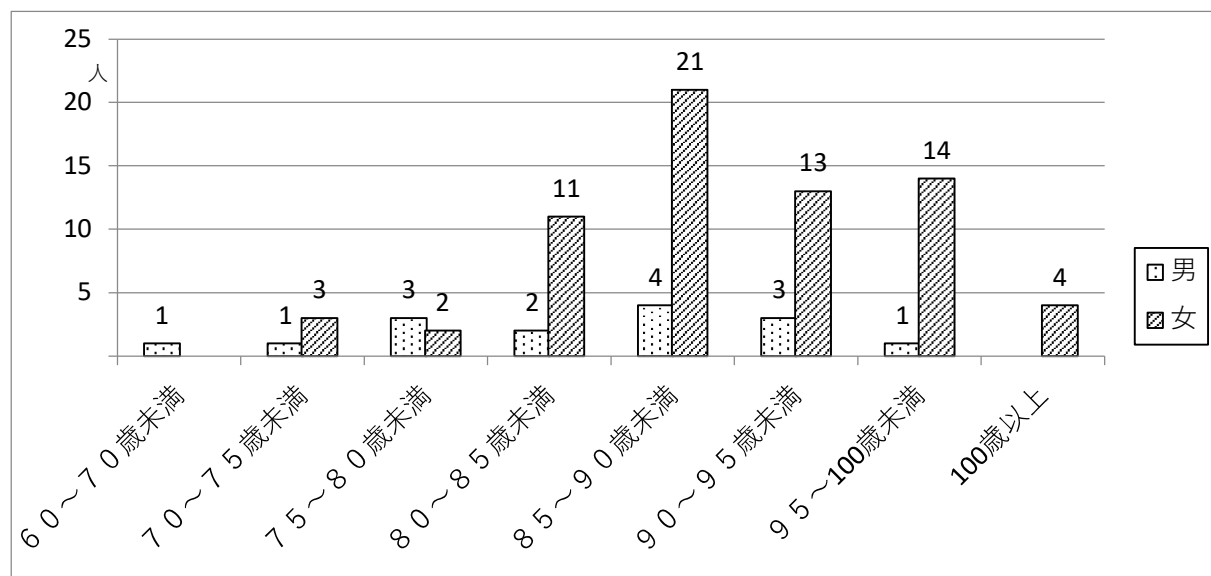
介護老人福祉施設 (定員 100人)

(単位 歳)

区 分	男	女
最高年齢	95	101
最低年齢	63	70
平均年齢	83.0	89.0
男女平均年齢	88.0	

(単位 人)

区 分	男	女	合 計
60～70歳未満	1		1
70～75歳未満	1	3	4
75～80歳未満	3	2	5
80～85歳未満	2	11	13
85～90歳未満	4	21	25
90～95歳未満	3	13	16
95～100歳未満	1	14	15
100歳以上		4	4
計	15	68	83



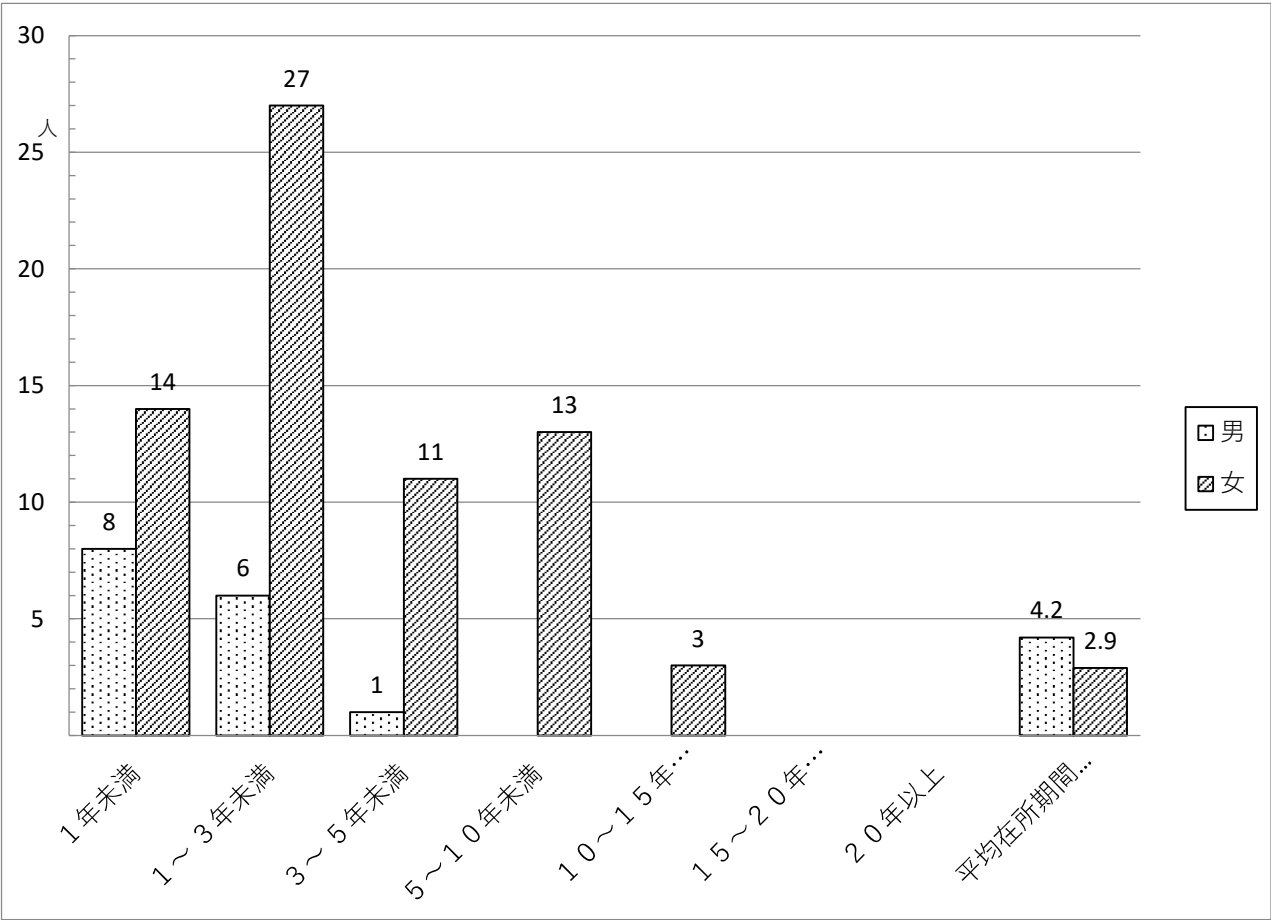
1 1. 入所期間別表

令和7年3月31日現在

介護老人福祉施設 (定員 100人)

(単位 人)

区 分	男	女	計
1 年未満	8	14	22
1 ～ 3 年未満	6	27	33
3 ～ 5 年未満	1	11	12
5 ～ 1 0 年未満		13	13
1 0 ～ 1 5 年未満		3	3
1 5 ～ 2 0 年未満			
2 0 年以上			
合 計	15	68	83
平均在所期間(年)	4. 2	2. 9	3. 1



1 2. ボランティア受け入れ状況

新型コロナウイルス感染予防の為、ボランティアの受け入れは行わなかった。

1 3. 館山市介護相談員派遣事業受入れ

1 0月と1 2月の2回、介護相談員の受け入れを行った。